

松本障害保健福祉圏域自立支援協議会 部会・プロジェクト議事録

<p>部会・プロジェクト名 権利擁護部会</p>	<p>開催日：令和3年5月27日（木） 時 間： 13:30 ～ 15:00 場 所：松本市梓川公民館</p>
<p>参加者構成機関名 松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、基幹相談支援センター（欠）、障がい者総合相談支援センター Wish、松本市社会福祉協議会、塩尻市社会福祉協議会、安曇野市社会福祉協議会、長野県精神保健福祉士会、長野県弁護士会、リーガルサポートながの、特定非営利活動法人 ケ・セラ（長野県社会福祉士会）、松本視覚障害者福祉協会、中信社会福祉協会、松本圏域自立支援協議会 事務局</p>	
<p>次第 （1）自己紹介（2）自立支援協議会について（3）県自立支援協議会 権利擁護部会の圏域代表委員の選出（4）令和2年度の振り返り（5）今年度について</p>	

会議内容

- (1) 構成員一覧に従って自己紹介
 - (2) 自立支援協議会について事務局から説明。
 - (3) 県自立支援協議会の権利擁護部会への委員の選出について
 中信社会福祉協会の三村部会員が辞任をしたことに伴い、後任の委員の選任を行った。今年度の圏域代表委員は障がい者総合相談支援センター Wish の川上部会員に決まった。
 今後の県自立支援協議会の権利擁護部会圏域代表は1年毎交代することとし、当該年度最終回の圏域の部会において後任を選任することとする。
 - (4) 令和2年度振り返り
 アンケートの目的について共有し、前年度の部会としての取り組み内容の説明を行う。
 - (5) 今年度について
 - アンケート実施期間の検討 → 7月中に実施することを目標とする。
 - アンケート対象施設及び病院の確認 → 次回の権利擁護部会に対象リストを提示できるようにする。
 - アンケート回収方法と集計方法の検討
 - ・通信費等の予算がないため、コストのかからないメール、FAX を利用することを改めて検討したい。（しごと部会でも同様の方法を採用している）
 - ・メール、FAX で送受信するアンケートの内容に、個人情報に含まれないので問題ないのでは。
 - ・メール、FAX の受審は事務局に一元化させてもらい、アンケート内容の問い合わせ先については、安曇野市社会福祉協議会の秦泉寺宛とする。
 - ・アンケートという手法で、より多くの回答を得るとするならば、メール、FAX よりも郵便により依頼する方が良い。メール、FAX は回答をいただく相手方の負担が多い。
 - ・google フォームの活用はできないか。
- 対象病院、施設のリスト数を見て、どれほどのコストがかかるかを試算してみる。
- その上で、アンケートの手法について検討し、コストをカバーできる財源がないか精査する。

○アンケート結果の分析と公表方法の検討

- 部会員全員で分担し、結果分析（考察）を行う。
- 公表の手法については幹事会に諮った上で、自立支援協議会ホームページに掲載をするかどうかの検討を改めて行う。

次回 開催日時：令和3年7月7日 13：30 ～ 松本市梓川公民館 第3会議室